

仕 様 書

1 件 名

市立学校保護者連絡システム整備業務

2 業務の目的

市立幼稚園、小中学校、保護者及び教育委員会の間の連絡システムを整備し、欠席連絡やお知らせ・資料の配布等についての連絡手段をデジタル化することにより、利便性の向上及び教職員の働き方改革を推進する。

3 履行期間

契約締結日の翌日から令和12年6月30日まで

※システム構築は令和7年8月31日までに完了すること。

※システム運用期間は令和7年9月1日から令和12年6月30日までとする。

4 利用対象

(1) 対象施設

ア 教育委員会	1 施設
イ 幼稚園	11 園
ウ 小学校	30 校
エ 中学校	15 校

(2) 対象人数

ア 園児児童生徒数 約18,000人

イ 教職員（教育委員会及び学校関係者含む） 約2,000人

※ その他、部活動外部指導員及びPTA等学校関係者の利用は無制限とする。

※ 園児児童生徒1人につき、4つまで保護者の連絡先（アプリ又はメール）の登録が可能であること。

※ 上記以外の利用が必要な場合は、受託者との協議の上、設定を依頼できるものとする。

5 基本要件

(1) 利用環境

ア 教育委員会・学校・幼稚園の教職員等（管理側）

Windows10以降のWindowsOSに対応し、Google Chrome、Microsoft Edgeのブラウザに対応していること。

イ 保護者・利用者等（受信側）

- ・ 専用アプリケーションは、Google Play、App Store からダウンロードして、インストールできること。
- ・ 動作保証環境は、Android8.0 以上、iOS15.0 以上であること。また、メール利用者や SHA2 の認証に対応したフィーチャーフォンに対応し、広告表示が無いシステムであること。なお、最新の OS がリリースされたときは速やかに無償で対応すること。
- ・ 日本国内のデータセンター内に構築したクラウド型のサービスであること。
- ・ 最大20,000人までの登録が可能であること。

(2) 利用時間

24時間365日（メンテナンスの時間を除く）

6 機能要件

(1) システム全般

ア 教育委員会、学校、幼稚園においてインターネットに接続されたパソコンやタブレット等から管理画面が閲覧できるとともに、各利用者に付与された管理権限に基づく操作・設定が可能であること。

イ 利用者において、パソコン、タブレット、スマートフォン、フィーチャーフォンでサービスの利用が可能であること。

ウ 稼働実績がある既存のパッケージシステムであること。

エ 利用者向けのアプリケーションは無償でインストール可能であること。

オ 管理側は、任意のグループ（PTA、部活動など）のチャンネルを無制限に追加・作成できること。

カ 管理者及び園児児童生徒情報は、CSV 形式等、エクセルファイルをインポートすることで一括登録ができること。

キ 今後の拡張機能として、校務支援システム（名簿及び遅刻欠席連絡）と連携できる API があること。

ク アクセスが集中した場合であっても、安定した配信が可能となるよう、配信専用サーバーを用意し、1時間あたり50万件相当の配信が可能な性能を備えること。

ケ 登録した園児児童生徒情報から保護者が特定できる仕組みであること。

コ 専用アプリとメールでの登録手順を記載した、利用者向けの登録手順書を管理画面からダウンロードできること。

サ 登録手順書にはチャンネル登録のために必要なチャンネル（グループ）コード、チャンネル（グループ）パスワード、QRコード、メール利用者登録用メールアドレスが自動で挿入されること。

シ 保護者チャンネル（グループ）の登録に必要な子どもIDが記載された個別の子ども

ID 通知書を別途印刷できること。

ス 専用アプリケーションでの操作ができない利用者等に対してはメールで配信ができること。また、専用アプリケーションと同等程度の機能を備えていること。

(2) 管理者機能

ア 役割と権限に応じた専用の管理画面機能

管 理 者	機 能
教育委員会	・ 学校アカウントの管理 ・ 各施設での運用状況確認 ・ 全体配信
学校・幼稚園	・ グループ開設 ・ 園児児童生徒の登録 ・ 各グループの管理者アカウントの管理 ・ グループに関する全操作権限 ・ タイムライン投稿
グループ管理者	・ 担当するグループの操作権限 ・ タイムライン投稿（権限があるとき）

イ メッセージ作成・配信機能

(ア) 教育委員会から学校、幼稚園及び保護者（全登録者）に配信できること。なお、メッセージは学校や学年を選択して対象者に配信する機能を有すること。

(イ) 教育委員会のアカウントは、メッセージの配信権限のみ有する設定及び閲覧・配信する施設を制限する機能があること。

(ウ) 学校、幼稚園及びグループの管理者は、グループの利用者に対し、メッセージを作成・配信できること。なお、メッセージは学年やクラス、部活動、個人などを選択して対象者に配信する機能を有すること。

また、配信されたメッセージは教育委員会が確認できる仕組みであること。

(エ) 地域協力者や教員の個人端末から個人情報を見ずにメッセージが配信できる機能を有すること。

(オ) 管理者画面は、ID、パスワードによりログインできること。

(カ) 学校、幼稚園が配信するメッセージについては、配信画面で既読確認設定ができること。また、配信結果から未読者を抜き出し、再配信ができること。

(キ) 配信タグ（「緊急」「重要」「要回答」「注意喚起」「協力依頼」など）を付与したメッセージの配信ができること。

(ク) 各グループへのメッセージ配信は、利用者属性を限定して配信ができること。

(ケ) すべてのメッセージに、ファイルサイズ上限 3 MB の画像ファイル(JPEG、GIF、PNG) 及び PDF ファイルを 3 つまで添付できること。

- (コ) 誤配信を防止するため、ワークフロー機能を有すること。
- (サ) 地域の協力者が配信したメッセージは教育委員会、学校若しくは幼稚園が確認できる仕組みであること。
- (シ) 配信日時を指定する予約配信ができること。なお、予約配信設定後も配信前においては、内容の編集、取消しができること。

ウ 欠席・遅刻連絡機能

- (ア) 保護者は専用アプリもしくはメールを使用して、学校に欠席連絡及び遅刻、早退等の学校への連絡事項を送信できること。

また、当日のみでなく未来の日付も選択できること。その際、期間を指定できること。

- (イ) 欠席理由を設定でき、自由記載できる入力欄を設けること。
- (ウ) 保護者は同一ログイン内で兄弟姉妹を選択し送信できること。
- (エ) 保護者は欠席連絡等の履歴の確認および修正ができること。
- (オ) 当日欠席の連絡受付時間帯を管理者ごとに設定できること。
- (カ) 教職員は保護者に代わり、欠席連絡の入力を行うことができること。
- (キ) 幼稚園及び学校は、利用者からの欠席・遅刻の連絡を一覧で確認できること。

また、連絡した保護者の続柄等の情報が確認できること。

- (ク) 入力内容を対象期間等で絞り込み閲覧可能であること。また、CSV 形式等で出力可能であること。

エ アンケート機能

- (ア) アンケートの設問は、単一選択、複数選択、テキスト入力による回答形式が利用できること。
- (イ) 単一選択の回答形式において、特定の回答を行った者に対し、追加の設問を設定できること。
- (ウ) アンケートの回答状況が確認できること。
- (エ) アンケートは設問毎のレポート、集計結果が表示できること。また、集計とは別に回答者別の回答内容を確認できる機能があること。さらに、集計結果を CSV 形式で出力可能であること。
- (オ) 未回答者へのリマインダー通知機能を有すること。

オ 日程調整機能

- (ア) 個人懇談や家庭訪問等の日程調整ができること。
- (イ) 日程、期間、時間単位、除外する日時及び回答期限を設定できること。
- (ウ) 回答結果画面では、利用者の回答状況や個別の回答結果を確認できること。
- (エ) 保護者から電話等による回答の連絡があった場合に、管理者が手動で登録・編集ができること。
- (オ) 未回答者へのリマインダー通知機能を有すること。

(カ) 利用者からの回答は仮予約として登録され、管理画面で日程を確定できる仕組みがあること。

(キ) 管理画面からカレンダー形式で回答を確認できること。また、回答結果を PDF 形式でダウンロードできること。

キ タイムライン機能

(ア) グループの運用者への利用権限付与が可能であり、付与された運用者は投稿・編集ができること。

(イ) 投稿内容は、「タイトル」「本文」及び画像の添付ができること。

(ウ) 画像の添付は、一つの記事に対し 10 枚以上可能であること。なお、画像のサイズが大きい場合は、アップロード時に適切なサイズに変換されること。

(エ) 投稿後であっても内容の編集・削除が可能であること。

(オ) 投稿記事の公開範囲条件を設定できる仕組みがあること。

ク 利用者登録状況確認機能

(ア) 保護者用のグループは、利用者一覧において園児児童生徒一覧が表示でき、園児児童生徒に紐づく利用者の確認も可能であること。

(イ) 利用者一覧から利用者の強制退去ができること。

ケ グループ作成機能

(ア) グループを作成する場合は、「グループ名」「グループ説明」及び「サムネイル画像」を設定できること。

(イ) 種別として、保護者用グループとその他グループの設定ができること。

(ウ) 同一幼稚園、学校で「グループ名」が重複したときは、作成できないこと。

コ 多言語対応

(ア) 専用アプリは次の言語の自動翻訳に対応していること。

- ・英語
- ・中国語（繁体字・簡体字）
- ・韓国語
- ・ベトナム語
- ・タガログ語

(イ) 各施設から利用者に配付される登録手順書は日本語のほか前項の言語で表記されたものが用意されていること。

(ウ) 専用アプリの初回起動時に端末の言語設定が日本語以外であった場合、利用者に言語設定変更を促す画面を表示し、初回の利用者設定を容易に促す仕組みがあること。

(エ) 原文表示ボタンを押すことで原文を確認することができること。

サ 個別メッセージ

(ア) 保護者とのメッセージのやり取りをするためのメッセージルームを一覧で確認

できること。

- (イ) メッセージルームの状態、未返信メッセージのあるルームや子どもでの絞り込みができること。
- (ウ) メッセージルーム詳細からメッセージの一覧を確認できること。
- (エ) 管理側でメッセージの開始・終了をコントロールできるよう、メッセージルームの公開・終了・再開が設定できること。また、ルームは、子どもに紐付く利用者1人を指定して開始できること。
- (オ) 管理側からの投稿には画像やPDFを添付できること。
- (カ) 一般（保護者用途ではない）チャンネルでも利用できること。
- (キ) メッセージルームは削除できないこと。

7 データセンター及びシステムセキュリティ

- (1) 日本国内のデータセンターを利用したシステムが構築されていること。また本システムで利用するデータのバックアップの保管先についても海外ではなく国内の複数個所にあるデータセンターで実施されていること。
- (2) データベースのデータは日時のフルバックアップを行い、最低1か月以上の世代管理を行うこと。
- (3) データベースサーバーは、インターネットから直接アクセス可能なウェブサーバーとは分離されたシステム構成とし、個人情報を保存するデータベースについては適切な暗号化が実施されていること。
- (4) ファイアウォールを導入し、システムを利用するために必要な最低限の通信のみ許可するセキュリティ設計が行われていること。また、管理画面への接続、専用アプリからリクエストされるインターネットを介した通信についてはTLSにより暗号化されていること。
- (5) システムを構成する各種サーバーに対する死活状況、リソース状況等のシステム稼働状況を有人により24時間365日で監視する仕組みが運用されており、異常を検知した場合は、迅速に復旧対応できる体制が維持されていること。

8 サポート体制

- (1) システム運用・操作に関する問い合わせに対応するヘルプデスクを設置すること。
- (2) 利用者からの登録操作に関する問い合わせに対応するコールセンターを設置すること。
- (3) 教育委員会、幼稚園及び学校の管理画面からシステム操作に関するマニュアルが閲覧できること。
- (4) システム障害時には、365日体制で電話を受け付けられる緊急窓口を用意すること。
- (5) FAQサイトを構築し、利用者が自己解決できる仕組みを用意すること。

9 システム稼働支援

- ア 契約締結後、速やかにキックオフ会議を実施すること。また、徳島市の要望に応じて適宜会議を実施すること。なお、議事録は受託者側で作成し、会議終了後、速やかに電子データで提出すること。
- イ 園児児童生徒の初期登録を行うこと。なお、登録に必要な情報は別途教育委員会からCSV形式のファイルを提供する予定である。
- ウ 各機能等が正常に運用できるまでの間は、徳島市からの問い合わせ等に対し即座に対応できるよう体制を整え支援すること。
- エ 幼稚園、学校職員等に対する操作研修を2回以上実施すること。研修の実施にあたっては、事前に徳島市と実施時期及び実施回数について協議し決定すること。また、オンラインでの研修について対応可能であること。なお、研修に参加できない職員に対し、説明会を録画し再生配信ができること。

以 上